



きよせ市議会だより

一般会計補正予算賛成多数で可決

平成22年第4回定例会

平成22年清瀬市議会第4回定例会は、12月2日(木)から12月20日(月)までの19日間の会期で開かれました。今定例会では、市長提出議案(補正予算・条例等) 11件、議員提出議案(条例・意見書等) 10件、市民の皆様から提出された請願1件、陳情3件を審議しました。提出された議案等の審議結果は10面に掲載しています。

【下宿ばやし(平成22年12月5日清瀬けやきホール)】

補正予算の概要

今回の補正予算は、歳入歳出1億9,943万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ28億3,611万5千円とするものです。

歳入の主なものとしては、国庫支出金では、自立支援給付費の負担金変更による減額と地域生活支援の対象者が増えたことによる増額、幼稚園就園奨励費や児童扶養手当の対象者増加による増額、地域活性化交付金による増額、また、神山特別緑地の事業費が減額となったことに伴う減などにより差し引き4,81万2千円の増額補正です。都支出金では、自立支援給付対象者と地域生活支援対象者が増えたことによる増額、中清戸に建設中の認知症グループホームの開設準備費に対する補助金1,80万円、乳幼児医療費や義務教育就学児医療費の増額、神山特別緑地購入に対する補助金4,100万円などにより1億1,914千円の増額補正

です。繰入金では、一般財源の不足額に対応するため財政調整基金から9,382万4千円を繰り入れしているほか、後期高齢者医療特別会計へ平成21年度決算の精算により、1,712千円を繰り入れし、また、神山特別緑地購入に際し、買収費が減額となったことや都の新規補助金の対象に認められたことから緑地保全基金を7,605万4千円減額しておりますので、差し引き2,848万2千円の増額補正です。

歳入の主なものとしては、民生費では、自立支援給付事業において、24時間介護が必要な方の転入や、生活保護の人工透析を受ける方の増加、補装具申請者の増加などで、2,558万2千円、グループホームの開設準備費に1,80万円、保育園の施設や設備等の改修工事費2,500万円、保育園の備品購入費500万円、学童クラブの施設や設備等の改修工事費400万円、学童クラブの

備品購入費100万円、療養給付費負担金の増加に伴う後期高齢者医療特別会計繰出金に3,104万9千円の増額など1億6,377万3千円を計上しています。土木費では、神山特別緑地購入に際し、地価が見込みよりも下がったことなどにより4,280万6千円の減額補正です。教育費では、清瀬中学校の借用地を土地開発公社で先行取得したものを買い取るため1,549万5千円、就学援助の増加で、216万7千円、図書館の図書購入費1,100万円、郷土博物館で予定している「昆虫展」などの経費として140万円など3,261万円を計上しています。

市議会の会議録は市のホームページでご覧いただけます。
市議会はいつでも傍聴できます。
市議会についてのお問い合わせは議会事務局へ
電話 042 492 5111
清瀬市ホームページ
<http://www.city.kiyose.lg.jp/>